



新卒者研修「静脈注射Ⅲ」

～安全で確かな静脈注射を身につけよう～

1月18(木)～19日(金)に、新卒者を対象に静脈注射Ⅲを実施しました。研修では、末梢静脈留置針を安全に挿入するために、手順の確認、安全な部位・血管の選択、刺入、固定方法、剥がし方を腕モデルを使用し演習しました。皮膚・排泄ケア認定看護師によるテープの貼り方・剥がし方、スキンケアに関する講義とテープを使用した体験を通して学びを深めていました。



【講義の内容】

看護職キャリア支援教育担当看護師長より、「末梢静脈留置針を安全に挿入するための知識・技術」に関する講義、皮膚・排泄ケア認定看護師による、「テープの貼り方・剥がし方」に関する講義を受けて、研修者は演習に臨みました。

研修者同士で腕を曲げた状態でテープを貼付し、動かすことで皮膚が引っ張られる実感やテープの正しい剥がし方を体験しました。

末梢静脈注射を実施する前には、必ず患者への説明を行います。看護師役の研修者は、目的や方法、注意事項をわかりやすい言葉で伝えていました。

末梢静脈留置針挿入時は、患者への声かけを行いながら、患者の反応を見て行うことが大切であると学んでいました。

腕モデルを使用し、末梢静脈留置針を穿刺しました。穿刺時は、教育担当者の指導を受けながら安全で正しい手技を心がけ実施していました。

確実なテープの固定方法や皮膚損傷に配慮したテープの剥がし方を考えながら実施しました。

穿刺部位の選択や穿刺方法（角度や穿刺時の注意点）をマニュアルで確認しながら演習を行いました。患者にとって苦痛を伴う看護技術であり、研修者は安全で正確な技術の修得を目指し取り組んでいました。

次回のフレッシュナースNEWSでは、卒後2年目の「院内体験」の様子をお伝えします。新人教育に関して、何かご意見やご要望などがありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当